

育児院だより

2016年9月26日

第55号 発行 社会福祉法人 児童養護施設 埼玉育児院

発行責任者 柴山 英士

編集 埼玉育児院広報委員会

〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1 Tel.049・231・2107 Fax049・231・2111



あきらめない心と五輪観戦

北朝鮮による5回目の核実験が行われ、国連安保理による非難決議が採択されたというニュースが世界を駆け巡っています。そんなさ中、平和の祭典リオ五輪に續くりオパラリンピックが開催され、アスリートたちの熱戦が繰り広げられています。育児院の子どもたちにとっては、あっという間の夏休みが過ぎたり、職員にとっては一年で最も過酷な勤務状態から解放された感のある今日この頃です。おかげさまで今夏は大きな病気や事故もなく過ごすことができ子どもたちは学校生活のある日常へと戻っています。

ところで、この夏の世界的関心事であったリオデジャネイロ・オリンピックは、まさにスポーツの祭典にふさわしい数々の感動と素晴らしい人間の可能性を新たに見せてくれました。私も時差12時間というちょうど真逆の時間帯でのオリンピック観戦ということで、開催中は何日か寝不足気味の体で出勤しておりました。特に卓球、男子体操、バドミントン、水泳、柔道、レスリング、テニス、バレーボール、マラソンなどなど。テニス男子個人戦の錦織圭選手のオリンピック代表選手として臨むその意気に感動しました。プロであり、その後のプロとしての戦跡を残すためには、一年間のコンディション維持やスケジュール調整などさらにジ力熱や治安の問題などから多くの一流選手が出場辞退する中、個人的な損得勘定ではなく国の威信を背負うという使命感を前面に出し、そのために全力を尽くすという思いで出場を決めたとニュースで知りました。同じ日本人として何か心搖さぶられる思いがしました。これまで、自分が全身全霊をかけて積み上げてきた技術と精神力を、賞金ではなく日本の威信のためにあらゆるリスクを冒してもアスリートとしてオリンピックに出場してくれたのです。オリンピックでのプレーぶりは誰もが応援したくなるような、まさに「あきらめない心」での全力プレーでした。もうここまでかと思える逆境の中、プレーしている本人だけが全くあきらめることなく、持てる力の限界までも出し尽くすというすさまじい精神力を發揮しメダルを手にした時は、ただただ頭が下がる想いでした。柔道然り、男子体操然り、水泳でも本当に素晴らしい日本人アスリートたちの活躍でした。翻って、私はスポーツ観戦の傍観者としてのみこのスポーツを見ていたのでしょうか。4年に一度の舞台に立つアスリートたちは、そのためにどれほどの練習と挫折を乗り越えてきたのでしょうか。まさにオリンピックの舞台での「あきらめない心」はこの時にあるのではなく、すでにその舞台に立つずっと前から育まれていたのだと思います。

何事においても、もう駄目だと思う時があります。むしろ、そんな試練に直面する仕事や人生そのものと対峙しているかが問われ、その通りだと思う時こそ初めて「あきらめない心」が本当に必要なのだと思います。自分の生きざまを考えさせられる、この夏の五輪観戦でした。

埼玉育児院のホームページがリニューアルしました！！

パソコンはもちろん、スマホでもご覧いただけます。



URL

<http://www.ikujiin.net/>

埼玉育児院 院長 柴山英士



～たくさんのご来場 ありがとうございました～

7月2日土曜日、第8回のチャリティーコンサートには300名以上のお客様が来場してくださり、職員としてはこんなにたくさんの方々が育児院の子どもたちを支えてくれているんだと再認識をし、心強さを実感しました。大盛況の中、無事にコンサートを終えることができました。常日ごろから心優しい気遣いに感謝いたします。

今回のチャリティーコンサートで集まった収益は、老朽化した建物を建て替える費用としてあてさせていただく予定です。

アンケートより

- ・出演者と会場の一体感、温もりあるコンサートでした。(60代女性)
 - ・とてもマナーが良く気持ちよかったです。(60代男性)
 - ・この種のコンサートは初めてであり、感動しました。(70代男性)
- 来年度も実施予定ですので、是非、ご来場いただけたらと思います。

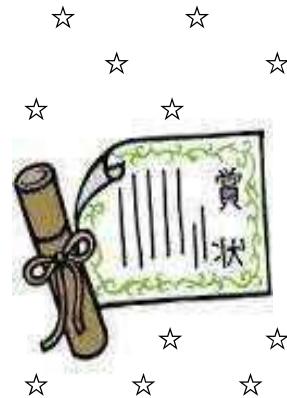


～川越市学校警察連絡協議会より表彰を受けました～

霞ヶ関中学校に通う1年生のRちゃんと2年生のHちゃんが川越市学校警察連絡協議会から市の教育センターにて「善行表彰」を受けました。

2人は5月12日、道に迷っていた高齢の方に声をかけ交番まで送り届け、さらに、交番に警察官の方が戻るまでの約20分間、その高齢の方に付き添っていたとのことです。

優しい心づかいのできる2人を誇らしく思い、また普段の家で見せる姿からは想像を超えた勇気をもった正しい行動をとることができる2人の成長を感じる機会となり、うれしく思っています。





平成28年度 創立記念
埼玉育児院 お楽しみ会



開催日：平成28年10月30日（日曜日）

時間：11時～14時30分（雨天決行）

場所：埼玉育児院内

お世話になっているボランティアの方、地域の方々などたくさんの笑顔にあえる日です！

今年も、盛り沢山な内容を考えていますので楽しみにしていてください！

晴天になる事だけを願っています！



お楽しみイベントも開催します！イベントゲストは当日のお楽しみ！！！
景品の当たる大抽選会もあります！

*駐車場はありません。徒歩または自転車でお越しください。

*模擬店の食べ物は、衛生上お持ち帰りできませんので、ご了承ください。

埼玉育児院一同で皆様のご来院をお待ちしています。

それぞれの夏休み

太陽がジリジリと照りつける夏の暑さのなか
遊びに宿題に部活に・・・と夏休みを謳歌していたこどもたち♪
各お家に夏休みのできごとを聞きました。

★A ブロック★

千葉県、館山の海へ。海が大好きなみんな。太陽が照りつける夏の暑さのもと、みんなで魚のように泳いできました！！泳ぎ疲れるとだんだん飽きてくるもので…職員がいきなり「釣りがしたい！」と、急遽ボートに乗ることに！！その道すれになったのは、小3Rちゃん。日陰になるものもなく、延々とボートの上で魚を持つこと数十分…釣れない…これが釣れないんです！！笑
言い出しちゃ職員の「帰ろう」の一言でみんなが待つビーチへ戻ることに。たくさん買い込んだイソメ（餌）たちは名も無き海の魚たちのごはんになってしまいました…

★B ブロック★

今年の夏は海へ♪台風が近づいていて、不安でしたが、幸い、雨に降られず海で思いっきり楽しむことができました！そして、市原ぞうの園にも行きました。そこでは、ぞうさんショーがあり、ぞうのいろんなパフォーマンスに感動。他の動物たちとも触れ合ってきました。

★C ブロック★

女の子たちは水上公園へ。流れるプール、ウォータースライダーに休憩なくはしゃぎまくり！帰り際、自分の服にセミが止まったYちゃんは大パニック！！日ごろ虫を触ったり、トカゲを捕まえたりしているのに、セミから逃れようとすごい形相で必死に手足をバタバタしている姿に思わず笑ってしまいました。

小5Rくんと年少Yくんは同じ恰好で気持ちよさにお昼寝。そんな姿に職員も気持ちがほっこり♪年少Yくんは今年の夏、初めてラジオ体操へ。キヨロキヨロしながら見よう見まねで体操している姿はとてもかわいらしかったです♪

★D ブロック★

男女の家になり2回目の夏休みを迎えたDブロック。一緒に遊びに行くことをお互い嫌がっていたのですが、流しそうめんにBBQと一緒に出かけて楽しい時間を共有。子どもの間でDSゲームがブームになり男女で対戦している姿を見て、男女のひとつの家として雰囲気がてきたなと嬉しく感じる場面も。

8月中旬から2人おたふく発症。高熱にうなされ、食欲も出ない2人でしたが、パンパンの顔を記念にパシャリ。2人に笑顔はないですが、何年後かに見返したとき、夏の思い出の1ページとなってくれることでしょう。

★松本ホーム★

2泊3日で新潟県のフォレストアドベンチャー、海、群馬サファリパークへ。フォレストアドベンチャーでは、命綱をつけて木から木へ綱渡りしたりターザンしたりと2時間程かけていろんなコースに挑戦！！どのコースも子どもたちは余裕な表情。「頑張れー」と子どもたちから逆に応援してもらいながら、大人も子どもも楽しく過ごしました！楽しみにしていた夕食の時間。お米が美味しいことに感動し、みんなモリモリ食べていました☆

★原田ホーム★

皆でプールと海に行きました。何度もウォータースライダーに乗ったり、浮き輪でプカプカ浮きながら流れるプールを何周もしたり、大人と一緒に自分の背丈より深い場所に行ったり、子どもたちそれぞれの楽しみ方でプールと海を満喫しました！

東武動物公園へのご招待

小学2年生までを対象に東武動物公園へ招待していただきました。大人としては動物園内一番奥のサバンナコーナーを見てもらいたかったのですが、その手前的小動物ふれあいコーナーにはまり、なかなか離れることができず…ウサギ、ひよこ、モルモットを大事そうに膝の上に置き、優しい表情の子どもたちが印象的でした。ポニーの乗馬体験に参加した子は緊張で動けずでしたが、終わってからは「毛がふさふさだった！」「楽しかった！」と大興奮！！



また、絵本やテレビでは見たことがあっても生のキリンを見るのは初めて！！水の飲み方に「あんなに足広げて飲んでる！！足が長くて曲がらないのかな？足に棒が入っているみたい！すごい！見て見て！！」とテンションあがり感動していました。

途中、泣きだしてしまった子もいましたが、ホワイトタイガーを見て笑顔になったり、ガラス越しにバトルする子がいたり。あいにくの雨模様でしたが、可愛い動物たちを見て、触れて、大人も癒された一日でした！

親善球技大会ソフトボール

やってきました！夏のこの時期！ソフトボール大会！！

今年最後の試合となる高校3年生2名を筆頭に皆、暑い中とても良く頑張っていました。大会当日は前日の台風の雨でグランドが田んぼ状態になっていたということで、延期になりなんとか25日に晴天の中、大会に参加できました。

今年大会経験者が4名。他は小学生でルールもわからないような状態でスタート。高3野球部のY君の強い希望で今年最後だからBチームで出場したい！！と。ルールもわからないような小学生もいる中でとても心配な気持ちはありましたが、そんな心配どころか、練習から自ら小学生に教えてくれ、練習に付き合ってくれました。

一回戦目は一昨年悔しい思いをして負けてしまったチーム…。絶対勝ちたい！という気持ちはありませんでしたが、「楽しくやろう！！」とみんなに声をかけてくれたYくん。小学生の分も自分がカバーしながら高3Kくんと一緒にチームを盛り上げてくれました。

結果、試合には二回とも負けてしまいましたが、チームがまとまりチーム一丸となって楽しみながら全力でいい試合ができました。高3男児はもちろんのこと、ルールがわからないなりにも小学生も一生懸命参加し頑張っていました。これも上の子達の優しさ！！

また他施設職員の方（負けてしまったチームの監督）からも「いいチームだね！高校生がいい。見てて本当に気持ちがいい！！良いねえ～！！」とお褒めの言葉もいただきました！！何よりも嬉しいお言葉でした！！

子育て支援事業【ひまわりルーム】

埼玉育児院では川越市から委託を受け、ショートステイ事業・トワイライトステイ事業を運営しています。

※ショートステイ：家庭で児童の養育が一時的に困難になった時、施設で宿泊を伴う養育、保護を行ないます。

※トワイライト：17時～21時30分まで「お子さんをお預かりします。」

※開所日は月～金曜日です。土、日、祝日は行なっていません。



(1) ショートステイ事業

○利用時間 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始は除く）

午前9時～翌日午後5時まで

○利用料 一日あたり 2750円（翌日10時までは1日分）

諸経費 1000円がかかります（食事代込み）

○預り場所 ひまわりルーム（埼玉育児院内） お子様の送迎は要相談

○利用方法 直接埼玉育児院ひまわりルームへ電話を下さい

(2) トワイライト事業

○利用時間 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始は除く）

午後5時～午後9時30分まで

○利用料 一日あたり 750円

諸経費 500円がかかります（夕食代込み）

○預り場所 ひまわりルーム（埼玉育児院内） お子様の送迎は要相談

○利用方法 埼玉育児院ひまわりルーム 電話 049-298-4251

受付時間：月曜日～金曜日 9時～17時（祝日、年末年始は除く）

『ひまわりルームの紹介』



リビングでTVを観たり、ゲームをしたりして遊んでいます！！

ショート利用の時はお風呂も利用出来ます！

食卓。皆で楽しく、おいしいご飯を食べています！



28年度育児院だよりの年間連載企画。児童福祉や社会的養護に関する新聞記事に対し、育児院の状況や課題などを伝えします。

今回は、

福祉新聞 平成28年8月1日 掲載の記事。

『施設退所者の修学を支える』

内容：児童養護施設を退所後、大学などに進学した学生のためのシェアハウスが都内に誕生した。…利用料については授業料などを自分で賄う学生を支えるため、部屋代や光熱費、朝夕食費込みで月5万円…学生に寄り添う職員が夕方から宿泊する…。

児童養護施設は原則18歳で退所する。一般家庭では進学8割、就職2割だが、児童養護施設の子は進学が2割、就職7割。施設出身者の進学後、21%が中退している。…

今年高校3年生で、卒業と同時に退所を迎える児童は育児院に4名います。その内2名が進学希望です。

以前は、退所=就職(さらには住み込み・社員寮)が進路支援にあたる職員には常識のような考え方でしたが、最近は育児院でも進学する児童が増えてきています。「学びたい」「資格を取りたい」という希望を持つ子が増えたという実感もあります。

しかしながら、入学しても、無事卒業できたという報告はなかなか聞くことが出来ません。

卒業までに至らない何よりも大きな壁、それはお金です。施設にいる間に、受験料、入学金、教科書代など入学に関わる費用を奨学金や今までのバイトの貯金などで工面します。受験勉強も大変ですが、入学の準備が整うまでも、大変です。

その後、施設を退所し新生活をスタートした後は、生活に掛かるすべての費用に加え学費までを、奨学金やアルバイトで自ら稼いで捻出しなければなりません。学校に通いながら、それ以外の時間はほとんどをアルバイトに費やすなければいけないという現実です。

「入学するにも大変、入学した後はもっと大変」とい

う事実を伝えた上で、それでも進学を選択するか一緒に考えます。

実際に進路支援を経験した職員に話を聞きました。

『進路を考える時にお金の問題はとても大きい。住まいも含め親族からの支援がどのくらいあるのかによってその子の選べる幅が変わってくる。』

『今年進学が決定した児童は、部活、バイト、学習にストイックに取り組んでいた。その先の人生設計も考えている。施設で生活する子にとって進学するためのハードルは相当高い。そのハードルを越えようとする子は滅多にいない。夢が持ちづらい。』

そんな中、『お金の支援に関してはここ数年で充実してきている』『退所者支援の取り組みについて、様々なものが出てきていると感じる』という声もあり、これから実のある進路支援を積み重ね、自分の人生を歩む先輩たちの背中を見せる事も今後の進路選択に大きな意味を持ちそうです。

また、多くの職員に共通していたのは、『話を聞ける大人が側に居ること』が送り出す立場として安心という思いです。18歳で社会走出去く彼らには、多くの不安があり、様々な助けが必要です。日常にあふれる些細な躊躇を、その時に何気なく解消できる頼れる誰かが身近にいるという安心は大きいです。些細な躊躇が重なり、大きく膨れ、押し潰されてしまう前に、その子の雰囲気を察知して、「どうしたの?」のひと言が必要です。これは、進学に限ったことではありません。

私たち施設のアフターケアも大きな課題ですが、『見守り続けていくしかない。定期的に連絡を取り、いざという時に相談できる存在に職員がなっているかが大切。』という声もあり、繋がり続ける努力や工夫が必要です。

他にも『シェアハウスには住みたくない、一人暮らしをしたいと希望する子もいる。そこをどう支援するか。』今まで施設の集団生活を不本意ながら強いられていた子の尊重されるべき気持ちも大切にしたいです。

日誌

7月

- 1日：関プロ施設長研修（院長）
2日：埼玉育児院後援会主催チャリティーコンサート
5日：主任級職員研修会（萬・関本）
6日：委員会/部署別
9日：立教大学生生活体験7名受入/川越児相里親入門講座（栗津稚）
10日：ローラーブレード
12日：ケース会議/処遇主任会議/書記会施設見学/川越児相里親推進委員会（栗津稚）
13日：職員会議/施設長会議（院長）
14日：埼児研（戸川）/埼児協研修委員会（院長）
15日：所沢児相里親サロン（栗津稚）
17日：児童福祉施設親善球技大会実行委員（二本）
19日：基幹主任会議/後援会チャリティーコンサート反省会
20日：終業式
22日：里親支援情報交換会（栗津稚）
24日：サッカー招待
25日：基幹主任会議
26日：東武動物公園招待

8月

- 1日：未来の森サマーキャンプ～5日）
2日：GH松本レク（新潟・～4日）
4日：女子栄養大生見学
5日：ゲストスピーカーセミナー（新田）
7日：ローラーブレード/実習生（B～19日）
8日：Aブロックレク（千葉・～10日）/実習生（C～20日）
9日：子どもの悲嘆についての研修（関本）
11日：キッズサマースクール（～14日）
17日：Bブロックレク（千葉・～19日）
18日：Dブロック BBQ
19日：要保護児童対策協議会（松浦）

22日：実習生（D～9/3）

24日：霞ヶ関中学校との連絡会

25日：児童福祉施設親善球技大会/社会福祉法人監査研修（高橋）

26日：里親サロン（須藤）/埼児協研修委員会（院長）

29日：Bブロック映画レク

30日：里親基礎研修打合せ

31日：研修指導者養成研修（～9/2日・川内）

9月

- 1日：始業式/児童養護実践学会特別セミナー（～2日・高橋）
3日：積和建設ボーリング招待/実習生（B～15日）
5日：社会福祉援助技術基礎研修①（笠間）
基幹的職員研修（～6日・戸川）
7日：第三者評価説明会/部署別・主任会
8日：埼児研（戸川）
10日：女子栄養大ボランティア
11日：コスモス日帰りキャンプレク
12日：埼児研新任職員研修（～13日・戸川）
社会福祉援助技術基礎研修②（笠間）
13日：社会福祉援助技術基礎研修③（笠間）
15日：部署別・職会/サービス委員会
16日：派遣研修オリエンテーション（鈴木美・萬・戸川）
児童実践学会セミナー（高橋）
17日：理事会・評議員会/サッカー招待
20日：里親SW連絡会（栗津稚）
21日：委員会・部署別/施設長会議（院長）/施設退所児童に
係る連絡会議（新田）
24日：里親希望者基礎研修/Cさくらレク（TDL・～25日）
26日：サポートクラブ広報折込ボランティア
27日：霞小修学旅行（～28日）
28日：ケース・部署別/院内CSP研修
福祉医療機構説明会（高橋）

いつもありがとうございます。・7～9月・

《寄付者》まいまいの会、セカンドハーベストジャパン、遠藤京子、明治神宮崇敬会、倉片清、高星清、関本賢
ガイア川越店、オータ狭山ツインパーク1、吉田智子、川越市Y・H、大竹拓己、託児グループさくらんぼ
株式会社J's Factory、きもの鹿鳴館俱楽部川越支部、毎日新聞社秘書室、パンブキン、及川律子、井上均
大宮アルディージャ選手会、ABC大宮アルディージャ、三菱広報委員会
《学習ボランティア》石塚定次、成田みぎわ、松尾雄一、（本園）唐津輝夫、唐津明（GH松本）
《育児院だより発送》埼玉育児院サポートクラブ
《日中保育ボランティア》南恒明・圭子、金澤政夫・敏恵、西山博、澤田美幸、九川美寿穂、松井美智子
長内利克
《縫い物ボランティア》梅澤晃・幸子
《ヨガボランティア》原田瑞穂
《調理ボランティア》佐藤仁美
《スケート教室》森田夫妻、大竹拓己
（敬称略・順不同）